

## 10/1 兵庫県立大学とマルヤナギが共同研究契約を締結 生活習慣・食生活から健診データを解析 効果的な指導で従業員の健康をサポート

蒸し豆・佃煮・煮豆のマルヤナギブランドを展開する株式会社マルヤナギ小倉屋（神戸市東灘区 代表取締役社長：柳本 勇治）と兵庫県立大学（神戸市西区 理事長：五百旗頭 真）環境人間学部 栄養教育・栄養生理学研究室は、2022年10月1日、従業員の健康状態の改善・増進を目的として、職種や生活習慣等を切り口として健康診断データを解析、さらに従業員への介入による効果を解析・評価する共同研究契約を締結いたします。

### 【共同研究背景】

マルヤナギ小倉屋は2019年より、従業員の健康維持増進を目指し健康経営に取り組んできました。毎年実施する健康診断結果から「マルヤナギ健康白書」を作成し、従業員一人一人への健康サポートをする中で、年齢・性別だけでなく、職種や生活習慣によっても健康課題に偏りがあることがわかってきました。そこでこの度、兵庫県立大学 環境人間学部 栄養教育・栄養生理学研究室で時間栄養学を専門とする永井先生らと共同研究を行い、生活習慣・食生活の観点から、各職種別の健康診断データの解析を実施、さらにその結果から効果的な介入方法を検討・実施することで、従業員の健康増進に取り組んでいくこととなりました。

### 【共同研究概要】

- |              |  |                     |
|--------------|--|---------------------|
| (1) 研究スケジュール | 2022年 9月   | 従業員健康診断実施           |
|              | 10～12月頃  | 健康診断結果の統計解析、介入方法検討  |
|              | 2023年 1～3月頃  | 従業員への介入開始           |
|              | 8～9月頃  | 従業員健康診断実施           |
|              |  | 健康診断結果から介入の効果を解析・評価 |
| (2) 被験者      | マルヤナギ従業員 435名（概算）<br>（営業職、事務職、製造職 合計）  |                     |
| (3) 研究内容     | 従業員の職種や生活習慣等のデータと健康診断データの関連を調査し、解析結果から介入方法の検討・実施、さらにその評価を行う。<br>※健康診断と同時に行う生活習慣等の調査には、マルヤナギが取り扱う蒸し豆、もち麦等伝統食材の摂取量を含み、その健康状態との関連についても調査する。 |                     |

### 【共同研究者】

兵庫県立大学  
環境人間学部 食環境栄養課程  
栄養教育・栄養生理学研究室  
専門：時間栄養学

永井 成美 教授  
半澤 史聡 助教

永井成美 教授



半澤史聡 助教

